

新年のご挨拶

経営管理室長

渡邊 多加志

新年あけましておめでとうございます。

昨年中は、市立札幌病院に対して、温かいご支援、ご指導を賜り、誠にありがとうございました。引き続きまして、本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、当院は、早くから地域の医療機関の皆様との連携を強化し、平成 25 年 8 月に「地域医療支援病院」の承認をいただきました。その後も引き続き連携の強化を進めたことによりまして、今年度は、紹介率が 74.8%、逆紹介率が 92.4%と高い水準となっております。また、新規に入院する患者さんも順調に増加しており、今年度は、平成 27 年度より 3.3%の増、平成 25 年度と比べると、1月当たりの新入院患者数は、およそ 1,280 人からおよそ 1,380 人と、100 人もの増加となっております。

これも、ひとえに、連携医療機関の先生方のお力によるものでございまして、厚く御礼申し上げます。

当院といたしましては、さらなる患者数の増を目指して、連携医療機関の皆様からのご依頼がしやすくなるように、一昨年から様々な取り組みを進めております。すでにご紹介させていただいたものもございしますが、新たな取組を中心にご紹介させていただきます。

まず、昨年 8 月からは、代表電話とは別に Dr to Dr 患者紹介専用ダイヤル【011-788-6570 (月から金 [祝日除く] 8:45~17:15)】を開設し、Dr to Dr での緊急患者さんの依頼をよりスムーズに行っていただけるようにいたしました。すでに、月平均 45 件程度のご利用をいただいておりますが、さらなるご活用をよろしくお願い申し上げます。また、昨年 9 月からは、高齢化の進展に伴って、今後もニーズが高まっていくと見込まれる肺炎の患者さんのご依頼につきまして、内科全体で対応する体制を整えたところです。対象となる患者さんがいらっしゃるいましたら、上記の専用ダイヤルをご活用いただき、ご相談ください。

さらに、昨年 4 月からは市内でも最先端の PET-CT を導入いたしました。地域の先生方にもご利用いただけますので、ぜひご活用ください。

最後になりますが、今後も、地域医療支援病院として、また、高度急性期を担う病院として、さらに、32 の診療科を持つ総合病院として、よりいっそう患者さんを積極的に受け入れ、速やかに高度な治療を行ったうえで、できるだけ早くご自宅あるいは連携医療機関の先生方のもとへお返す、地域完結型医療の実現を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。